

区政のここが聞きたい 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

地球温暖化対策と子どもたち主体の環境づくり
 自由民主党目黒区議員
そくだ 次郎 議員

〔**温暖化対策**〕2012年を達成目標とする「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」について(1)現状と進捗状況を問う。(2)(ア)低炭素社会の実現に向けて、区民への周知や検証をどう行っていくか。(イ)長期的に30年～50年先にどのような街であって欲しいか。そのために、いつから、何を始めればよいか。未来の目黒区を創造し、考える必要があるのではないか。
区長 (1)温室効果ガスは、計画最終の平成24年度には5%以上を削減目標としている。進捗状況は23区統一の積算式で算出するため、現時点では把握できない。(2)(ア)パンフレットを全戸配布した。区民、事業者、官公署等で構成する「目黒区地球温暖化対策地域協議会」で、年度ごとの対策の進捗状況を点検、評価していく。(イ)環境政策を立案する際に、将来ビジョンに十分留意していく。
〈学校の情報化〉情報通信技術(ICT)を活用した授業の取り組みの現状と、教員の仕事の効率化について問う。IT化の環境が家庭と学校でギャップがあるのではないか。
教育長 ICT支援員を学校に派遣し、授業等支援を進めてきた。教員が教育活

動に専念できる環境整備に努める。ICT環境は日進月歩で、キャップはやむをえないが、家庭等と連携し、実態に即した指導に努める。
〈スポーツ活動拠点〉一般公開、貸切事業、各種大会、イベントなどでスポルテ目黒が活動する碑文谷体育館の、工事期間中の代替施設について問う。
教育長 近隣の学校体育館の借用などで、活動の継続を支援していく。
〈校庭の芝生化〉天然芝を導入した2校についての総括を問う。校庭を芝生化するに当たり、学校や子どもたちにとって必要なものを整備せよ。
教育長 天然芝生化は成果がある一方、維持管理面等で短所もあり、今後は導入しない。人工芝は、天然芝の短所を補うもので、今後校庭のダスト舗装の状況を見ながら順次整備していきたい。
〈学校給食と食育〉学校給食を教材として、行事食や郷土料理を通じて伝統行事、文化等に親しむ工夫をせよ。食材の高騰を踏まえ、給食のあり方を検討せよ。
教育長 平成21年4月から、行事食等の実施を検討している。給食費は、食材費の動向を見て検討を行っている。

命の尊さを啓発せよ 生き物の命と安心の生活を守ろう
 民主・区民会議
木村 洋子 議員

〔**飼い主のいない猫・犬対策**〕生存機会を与えられるよう、飼い主探しの情報交換や譲渡作業を推進するために、ボランティア、獣医師会等と連携し、協力体制・助成などを強化拡充せよ。
区長 平成16年に23区初の「猫の飼育ルール」を作成し、20年度からは飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の助成を実施した。人と動物が快適に共生できる街を目指し、ボランティア、獣医師会等関係機関との連携、適正飼養の普及啓発等に取り組む。
〈さわやかコール〉高齢者安否確認電話事業は、利用者の意向も聴き、時代に見合った機器の選定や区情報の提供など、広い視野を持って改善せよ。
区長 利用者アンケートの結果から、電話回数の増について対応した。平成21年度からは、事情により携帯電話の利用もできるようにしていきたい。
〈就労支援〉経済動向の変化著しい近年、冷え込む景気に失業、廃業が増加している。ワークサポートめぐろでは、実労働人口の確保など広がるニーズへの対策を充実させよ。
区長 ハローワーク渋谷など関係機関と

連携、協力を図りながら、ワークサポートめぐろの充実に努める。
〈集合住宅の安全〉区内の大型分譲マンション等は、築後数十年経過しているものもある。耐震化促進事業もあるが、区分所有者への建替え費用の融資方法や合意形成への指導、協力体制を推進せよ。
区長 マンション等の実態調査の結果を基に、改修や建替えにつき、民間団体等との協力も視野に入れた支援体制を検討する。耐震化は緊急性が高いので、管理組合等へ直接働きかける予定。
〈温暖化対策〉カーボンオフセット採用など、目黒の今後の取り組みを問う。
区長 実施自治体での効果等を見極め、CO₂削減対策の一つとして検討する。



景気悪化からくらしを守り 誰もが安心して住める目黒に
 日本共産党目黒区議員
石川 恭子 議員

〔**区民の暮らしを守れ**〕(1)介護保険料、国民健康保険料の値上げ、行革計画による保育料や施設使用料の値上げは行わないこと。(2)中小業者を支えるために、無利子の特別融資を創設せよ。
区長 (1)社会保険制度は、相互扶助の精神で運営されるため、加入者に応分の負担をお願いする。低所得者の負担増をできる限り回避しながら、適切な負担を求めていく。(2)現行の融資制度は、平成20年4月より本人負担利率の軽減等を行い、中小企業への支援策を強化した。今後の経済状況を踏まえ判断する。

〔**新地域包括支援センター**〕保健福祉サービス事務所廃止による新地域包括支援センターの設置は、介護事業者等から地域福祉の衰退に繋がる等问题を指摘されている。新センター設置は凍結し、介護福祉等関係者と共に再検討せよ。
区長 組織改正については、地域福祉審議会、地域包括支援センターの運営協議会等の関係区民の意見を聴きながら準備をしてきた。今後も意見・要望を聴きながら種々の相談に対応できる体制を整備し、新センター開設に向け準備を進める。
〈区独自ヘルパー派遣制度〉(1)サービス

対象を65歳以上に。(2)同居家族がいても家事援助が受けられるようにせよ。(3)病院の待ち時間も助助の対象にせよ。(4)低所得者については利用料減免制度を設けよ。
区長 (1)(2)(3)介護保険外のヘルパー派遣事業を整理統合し、家族等の支援を受けられない高齢者が自立した日常生活を営めるよう、対象者の範囲、サービスの内容等について検討を進めている。(4)減免措置を含め、現在、検討中である。
〈障害をもつ人が住み続けられるために〉(1)心身障害者センターあいアイ館等に子どもから大人までの系統的な相談ができる専門職員を配置し、支援や制度につなげていく総合相談支援センターを作れ。(2)重度障害者の入所施設を整備せよ。(3)必要性が高い緊急一時施設は、民間に任せるとはなく区の責任で拡大せよ。(4)療育施設すくすくのびのび園の利用にあたり、

(ア)利用料を無料にせよ。(イ)同行が認められない兄弟のための保育室を設けよ。(ウ)保育室ができるまで、公立保育園の緊急一時保育の対象にせよ。
区長 (1)障害福祉の相談は、障害の種類、程度によって多種多様で、専門化する傾向があるので、一つの窓口で対応するのは難しい。内容に応じた専門機関につなげていく。(2)基本計画改定の中で検討していく。(3)ショートステイのベッド数はおおむね足りている。利用しやすいよう事業の周知に努める。(4)(ア)利用者負担は、自立支援法の見直し内容により区の取り扱いを判断する。(イ)今後の検討課題とする。(ウ)緊急一時保育制度の趣旨から外れるため、現状では難しい。

青木区長は駒場の住民の生活環境を守らないのか
 無所属・目黒独歩の会
梅原 たつろう 議員

〔**用途変更**〕駒場一丁目の水路敷きの用途を宅地に変更すれば、8階建てマンションは建てられないのに、用途を変更しなかった。(1)水路敷きに隣接すると、日影規制が緩和されるのか。(2)業者と区との相談経緯を問う。(3)水路敷きの売買契約がないのに、建築確認が下りた例はあるか。(4)区長は相談者の要望をどう担当者に伝えたか。(5)用途変更すれば、階高はどの程度縮小できたか。(6)なぜ当該水路敷きを用途変更しないのか。
区長 (1)増築時に規制緩和がされたかは、確認申請書が現存しないので不明。



耐震化促進や資源回収で住み続けられるまちづくりを
 工藤 はる代 議員

〔**住宅の耐震化促進**〕(1)良好なまち並みを実現し、自分の家に住み続けられるまちにするには、景観形成や建物の耐震化等を進める必要がある。分譲マンションの耐震化促進の対策を問う。情報を収集し、居住者の立場に立った相談体制を整えよ。住民側に立ったまちづくり支援を実現させよ。(2)小規模土地取引の際の土壌汚染はどう対応するか。
区長 (1)耐震化促進の誘導策として、耐震改修助成の上限額の引上げを検討し、マンション管理組合等に啓発を働きかけていく。住宅・まちづくりセンターと協議し、法律、税務などの相談で支援体制を充実していく。住民主体のまちづく

りが促進されるよう、区や各団体などの支援策の連携に努める。(2)土壌汚染対策法の制度の運用で、適切な処理を指導する。
〈目黒川の清流復活〉上流下流の隣接自治体と連携し、雨水貯留と浸透対策を。
区長 水量確保、浸水被害防止のため、流域区と連携し、雨水貯留等検討する。
〈23区の資源回収〉容器包装プラスチックの資源回収を徹底する対策は。不燃ごみ中継所を容器包装プラスチックの中間処理施設として活用せよ。
区長 チラシ、ポスター等作成し、排出方法の周知徹底を図る。中継所の利用は、設置区の判断による。

「エコ先進区」目黒に! DVの恐怖からいのちを守れ
 民主・区民会議
香野 あかね 議員

〔**ごみ・資源の分別収集とリサイクル事業**〕(1)容器包装プラスチックのリサイクルが始まった。モデル地区の調査では、不燃ごみが前年に比べ3分の1に減少したが、まだ別の区分のものが約3分の2の割合で混入していた。もし、分別が徹底されたら9分の1に減った計算だ。分別の周知徹底の今後の方策は。(2)容器包装プラスチックなどを、圧縮処理施設まで輸送する際に出る二酸化炭素の量を問う。(3)圧縮処理を目黒区内で行えないか。
区長 (1)「プラスチックはごみではなく資源」との認識を区民に広め、適正な分別と排出ができるよう、チラシ、広報紙等で啓発事業を続ける。(2)輸送車両が1年間に排出する二酸化炭素の総量は約150トンと試算している。(3)区内に中間処理



行革計画への取り組み方と区民ニーズの拡充について
 公明党目黒区議員
武藤 まさひろ 議員

〔**目黒区行革計画(素案)**〕(1)区有施設の複合化や統廃合等の判断基準となる分析を、専門家等に依頼してはどうか。(2)新たな行政評価の実施と人材育成・活用基本方針の改定について問う。(3)行政組織の見直しについて問う。
区長 (1)素案では、区施設のあり方等の見直しに、検討組織を設置することとした。この組織で施設配置等を見直し、計画に反映していく。(2)サービス向上を目指す行政評価と、組織の総合力を強化するための人材育成・活用方針を検討する。(3)課題に的確に対応できる、簡素で効率的な執行体制を構築していく。
〈めぐろ区報〉(1)区報を区内の全ての銀行、コンビニに拡充し、新たに病院、治療院、保育園、幼稚園にも設置を依頼してはどうか。(2)レイアウトの改善及びお知らせなどもれなく掲載するために、ページ数の拡大が必要ではないか。
区長 (1)費用対効果を検証し、情報提供に一層の工夫を図る。(2)専門業者へ



目黒の未来 安心安全な街づくりを
 自由民主党目黒区議員
市沢 芳範 議員

〔**産業振興**〕(1)目黒から発信のめぐもカード事業で、参加店増大の支援と指導を問う。(2)商店街を明るくする街路灯の補助金見直し、修繕料等のメンテナンス料の商店会の負担を軽減せよ。
区長 (1)目黒区商店街連合会にPRチラシ経費など必要な支援をしていく。(2)商店街街路灯補助額の改定を検討。
〈介護と健康〉(1)ショートステイ等の一時入所のしやすい環境づくりと不安解消策を問う。区内に特別養護老人ホームの増設・新設を考えているか。(2)特定健診で、メタボリック症候群との診断。通知状だけの指導でなく、ホームドクターの推進を積極的に進めよ。
区長 (1)策定中の第四期介護保険事業計画(素案)では、平成23年度に特別養護老人ホーム、併設・単独型ショートステイ施設各1か所の整備を掲げている。(2)地域医療機関と連携し、かかりつけ医のPRを充実させる。
〈災害対策〉(1)大規模災害時の帰宅困難者の対応を考えよ。(2)隣接町会・隣接地区との合同防災訓練をせよ。(3)住宅火災報知器・煙探知機・家具転倒防

止対策を推進せよ。(4)エレベーター内に非常用防災用具を設置せよ。
区長 (1)東京都、23区等と連携し、効果的な具休策を構築していく。(2)生活圏を共有する周辺地域同士等の連携を視野に、実効性の高い合同訓練を支援していく。(3)火災警報器等は、高齢者世帯等に1台無償設置、家具転倒防止器具は、あっせん等の助成を実施している。設置促進に向け、啓発普及に努める。(4)非常時に閉じ込め防止のため、区施設エレベーターには、最寄階自動停止装置を配備した。今後も普及啓発に努める。
〈携帯でのいじめ対策〉(1)有害サイトへ子どもが巻き込まれないよう、またメールやプロフ書き込み被害等から子どもを守る対策と指導を問う。(2)理不尽なモンスターヘアレントに対して、毅然とした態度を取るよう指導せよ。
教育長 (1)携帯電話の利用状況等の実態調査を実施している。その結果を踏まえ、関係者等で対策を検討する。(2)毅然と対応することを学校に助言し、教育委員会・学校等が連携して解決を図る。

目黒区議会は、「目黒区ホームページ」の中で、区議会の仕組み、傍聴や陳情の方法、議員名簿などを掲載しています。こちら是非ご利用ください。

目黒区ホームページのURL (アドレス) <http://www.city.meguro.tokyo.jp/>

目黒区議会事務局のメールアドレス kugikai01@city.meguro.tokyo.jp

【問い合わせ先】区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413